

# オーストラリアの日本庭園のインターネットを 活用した広報の現状と課題

牧田直子\*・鈴木 誠\*\*

(平成 28 年 11 月 21 日受付/平成 29 年 1 月 27 日受理)

**要約**：戦略的国際交流が求められる今日、海外の日本庭園の運営もそれぞれの国や地域にみあったグローバルな構築が望まれる。オーストラリアは公開日本庭園 33 庭園中、姉妹都市が契機となり造園したものが 24 庭園で全体の 72%と極めて高い割合で、日本大使館、国立大学所有の 2 庭園以外は庭園のある地域の自治体・市民団体が運営しているという特徴がある。本研究ではオーストラリアの公開日本庭園 33 庭園を対象とし、庭園マネジメントの重要な要素の一つであるインターネットを活用した広報の現状から、国際文化交流における日本庭園のマネジメントの方向性を考察した。運営主体が公式に掲載している各日本庭園に関するウェブページの、掲載場面、内容などを調査し、その結果を試験的に数値化し、「積極的な広報＝戦略的」(A. 地域の観光資源としての存在感のあるもの 4 庭園, B. 地域市民の日常的利用を主体として観光資源を目指しているもの 10 庭園)、「消極的な広報＝非戦略的」(C. 日豪交流の証として存在を維持しているもの 13 庭園, D. 日豪交流の義務として庭園名だけを表記させているもの 6 庭園)の 4 類型を得た。積極的な広報と消極的な広報は両極で差があり、その半数以上が消極的であることから、日本庭園を介した日本の文化の理解のための場として、その役割が全うしていけるのが課題として見えた。

**キーワード**：日本庭園, 海外の日本庭園, オーストラリア, インターネット, 広報, 姉妹都市

## 1. はじめに

海外の公開日本庭園は現在 500 以上の存在が明らかになっている<sup>1)</sup>。既往研究では、その造園理由は、日本と相手国との姉妹都市を起因として造園された日本庭園（以下本研究では「姉妹都市日本庭園」という）が最も多く、その数は世界 26 ヶ国に 161 庭園あり、オーストラリアの姉妹都市日本庭園数は世界第 2 位、その公開日本庭園数に占める割合として 89%と突出しているという<sup>2)</sup>。また、オーストラリアの日本庭園 28 庭園の、現況、歴史的特徴、庭園を舞台にした日豪交流の現状から、28 庭園の運営主体はオーストラリアの自治体や市民団体であり、日本の文化を伝え、両国の平和維持、友好の証としての役割を果たしていることも明らかにされている<sup>3)</sup>。

海外の日本庭園については、その文化的価値を次代に継承すべく、それぞれの国・地域にみあった庭園管理と運営の手立てのグローバルな構築が望まれている<sup>4)</sup>とされているが、地域ごとに異なる条件下で作庭された海外の日本庭園の運営に特化した研究は数少ない。

一方、これからの国際交流の姿の基本となる視点は、戦略的な国際交流を行うこと、国際交流事業を地域の独自性、あるいは自治体を維持する政策課題と位置づけ、総合的な見地からのランドデザインを描くこととされる<sup>5)</sup>。自治体が戦略的な国際交流を行う上で、姉妹都市日本庭園

の国際交流に果たす役割、その日本庭園の存在、内容、利用、運営など総合的なマネジメントの基本に関わる情報の共有と発信が重要な案件となっている。

姉妹都市日本庭園であれば、この戦略的国際交流の観点からの情報発信・広報の意義は深く、特に姉妹都市、相互の自治体市民へのアカウントビリティの観点からも重要である。公共財としての公開日本庭園、姉妹都市日本庭園の観点から、誰も来ない、誰も利用しない、誰も知らない、ということでは、その存在意義、運営基盤が問われることになる。と考える。

そこで、本研究は、姉妹都市日本庭園の割合が極めて高いオーストラリアの日本庭園を対象として、その運営と国際交流に果たす役割の観点から、庭園の価値を明確化させることに資する、日本庭園の情報発信・広報に着目した。

広報は、行政機関が国民との間に、その目的に適合するような信頼・協力関係をつくり出すために行う諸活動であり<sup>6)</sup>、市民や関係者に伝えるもので、企業が行う広告とは異なる。広報手段には、広報紙・広報誌、動画、ポスター、パンフレット、掲示板、報告書、講演会、討論会（シンポジウム）、懇談会、展示会、催事、文化・慈善・教育事業、ロビイングなどがあり、広報媒体には、テレビ、新聞、インターネット、広報誌などがある。

最も一般的な広報誌は、市民の手に届くもので分かりやすく伝えることができるが紙面に限りがある。比べて、

\* 東京農業大学地域環境科学部造園科学科（南九州大学環境園芸学部環境園芸学科 n.makita@nankyudai.ac.jp）

\*\* 東京農業大学地域環境科学部造園科学科

ウェブサイトを始めとしたインターネット広報（本研究では以下「インターネット広報」という）媒体は、紙媒体に比べ長期間掲載が可能で、情報量を多くすることもできる。さらに、地域にとどまらず世界中に広く情報発信できるというメリットがあり、現代社会における広報活動の主力となりつつある。

本研究は、オーストラリアの日本庭園の運営主体による広報活動の一手段である、インターネット広報において、地域に造園した日本庭園について、どのような情報を発信し、どの程度力を入れているのかを明らかにし、それらの日本庭園をどのような位置づけでマネジメントしようとしているのかを考察することとした。

## 2. 研究の対象と方法

本研究はオーストラリアの日本庭園 33 庭園を研究対象にした。2010 年の調査にて明確な 28 庭園<sup>7)</sup>と、今回調査で得た 5 庭園を新たに加えた合計である。

まず、対象庭園の運営主体が開設するウェブサイトで、調査対象日本庭園の (1) 所在地住所や連絡先など庭園の基本情報、(2) 掲載内容（文字量、内容、写真等）を調査した。

次に、そこに掲載されている対象庭園の説明内容を整理して把握するための項目立てを行なった。これには、世界最大規模のネット検索サイト「Google」<sup>8)</sup>を用いて「オーストラリアの日本庭園」を検索し、その検索ヒットで最上位に上がった Cowra Japanese Garden（以下カウラ日本庭園）の掲載内容を参考にした。

カウラ日本庭園の掲載内容を整理分類することにより、①造園の経緯、②作庭者、③使用植物、④デザインの特徴、そして庭園以外の⑤日本の文化、の 5 項目を得た。さらに姉妹都市日本庭園が多いことから、⑥姉妹都市、に関する内容を加えた 6 項目を、日本庭園を広報する際の説明項目と考えた。この 6 項目を用いて、各日本庭園のインターネット広報の情報の量と質（内容）を分析考察するために、庭園説明文中の (a) 単語数と単語内容、(b) 写真数と写真内容、(c) イベント有無とイベント内容、の三つについて調査分析した。

また、インターネット広報の効果を検証するために、(d) インターネット検索での出現状況、(e) ソーシャルネットワークサービス（SNS）上での関心度、の二つを調査分析した。前者 (d) 検索での出現状況は、「Google」を利用し、「Australia Japanese Garden」を検索語句とした場合の各庭園の出現状況を指標として用いた。後者 (e) SNS 関心度は、同じく世界最大規模の SNS サイト「Facebook」<sup>9)</sup>を利用し、各庭園を Facebook サイト内で検索し、出現した各庭園の運営主体が開設している日本庭園に関する Facebook ページの「いいね」の数と、Facebook 上でのイベントページの「興味あり」、来園した際に自分の位置情報を知らせることができる「チェックイン」の数を合計し、関心度の指標として用いた。

以上のインターネット上の情報調査は、2016 年 10 月 15 日～11 月 16 日のものを最新データとして使用した。

最後に、運営主体のインターネット広報の積極性を比較検討するために、上記した調査項目 (a)～(e) の分析結果を試験的に数値化した。

これらの分析考察結果から、オーストラリアの日本庭園のインターネット広報の現状を明らかにし、既往研究のオーストラリアの日本庭園の役割<sup>10)</sup>と照らし合わせて、運営主体が日本庭園をどのような位置づけでマネジメントしようとしているのかを考察し課題を整理した。

## 3. オーストラリアの日本庭園の概要

歴史的にみると、オーストラリア国内にて現在一般に公開されている最古の日本庭園は、1961 年作庭の在オーストラリア日本大使館の日本庭園である。その後 1980 年代に 8 庭園、1990 年代に 14 庭園が開園している。33 庭園の運営はオーストラリアの州・市などの自治体やそれらが管轄する市民団体、国立大学、在豪日本大使館で民間企業や個人運営のものは含まれなかった。また全 33 庭園中 24 庭園 (72%) が姉妹都市日本庭園であった。

地域分布をみると、オーストラリアの首都キャンベラをはじめ、シドニー、メルボルン、ブリスベン、アデレード、パース、ホバート、とオーストラリア全 7 州の州都全てに 1 つ以上の日本庭園が作庭されている。

日本庭園の所在地（設置場所）をみると、最多が公園内 12 庭園、次が植物園内 9 庭園、その他 12 庭園は、動物園、大学や高校、ギャラリーなど、何らかの施設に附属しており、庭園が単独で存在するのはカウラ日本庭園のみである。

庭園の規模をみると、10000 m<sup>2</sup>を超える庭園が 6 庭園あり、面積が最大であるカウラ日本庭園は 50000 m<sup>2</sup>である。一方 1000 m<sup>2</sup>以下は 9 庭園あり、最小はローガン市の Miniature Japanese garden（以下ローガン市日本庭園）で 15 m<sup>2</sup>であった。

庭園様式をみると、21 庭園 (64%) が池泉回遊式庭園で、その他は池がなく観賞式 8 庭園、回遊式 4 庭園であった。

単独で存在し、規模も最大のカウラ日本庭園は、日本兵戦没慰霊地整備の一環として造園され、1979 年の開園時は当初のカウラ町で運営していた。東京都及び万博基金の援助により拡張し、現在は Cowra Japanese Garden and Cultural Centre として単独で運営している。2007 年の年間来園者は 4 万人を超えており<sup>11)</sup>日豪和平の象徴として、また観光地として、オーストラリアを代表する日本庭園となっている。

## 4. 運営主体のウェブサイトでの日本庭園紹介の掲載状況

対象とした 33 庭園のインターネット上での情報掲載状況は、その運営主体の公式サイトでは自治体・市民団体が 29 庭園、オーストラリア国立大学が 1 庭園、在豪日本大使館が 1 庭園で、運営主体のフェイスブックページでの掲載が 1 庭園、民間の観光案内が 1 庭園で、それぞれの庭園の所在地や説明が確認できた。33 庭園中 32 庭園の運営主体自身が何らかの形でインターネット広報を実施していた。

Osawano Japanese Garden（以下大沢野日本庭園）は

姉妹都市日本庭園だが運営主体の Wellington 市の公式ウェブサイトには記載がなく、民間の観光案内のウェブサイトでは Wellington 市の案内ページで確認できた。また、庭園独自でウェブサイトを開設しているのはカウラ日本庭園だけであった。

## 5. 運営主体のウェブサイトでの日本庭園紹介ウェブページの掲載場所と掲載内容

### (1) ウェブページの掲載場所

自治体・市民団体、国立大学、在豪日本大使館が運営する公式ウェブサイトに掲載されていた 31 の日本庭園は、独立のウェブサイトを持つカウラ日本庭園以外は、市民のための施設利用案内ページに掲載されていた。その内、最多が公園案内の中で 15 庭園 (48%)、次いで植物園案内の中が 4 庭園 (12%)、美術館などの施設案内と姉妹都市紹介の中がそれぞれ 3 庭園 (各 1%)、過去の記事紹介の中が 2 庭園、見学可能場所としての案内、式場案内、園内の景観案内の中が各 1 庭園であった。

### (2) 掲載内容

上記の 31 庭園の運営主体の公式ウェブサイト上で日本庭園について何らかの説明が掲載されていたのは 21 庭園 (67%) であった。その内 Himeji garden (以下姫路ガーデン)、Japanese Friendship Garden (以下コフスハーバー日本友好庭園) の 2 庭園はそれぞれの日本庭園のパンフレット (PDF ダウンロード形式) も内容に含まれていた。一方で庭園名または Japanese garden という表記のみで庭園説明文の掲載が無いところが 8 庭園 (38%) あり、その内 2 庭園は附属する公園マップに庭園名が記載、1 庭園は庭園写真掲載 (名称記載無し) のみであった。

庭園説明文を掲載する 21 庭園中、日本庭園に関する説明ページを単独で 1 ページ以上もつものは 15 庭園 (71%) で、その内 Syoyoen (以下逍遥園) のみが 2 ページ構成で説明文と写真に分かれていた。その他の 6 庭園 (29%) では説明文は公園案内の一部に掲載されていた。

#### (a) 単語数と単語内容

広報の情報量は説明文の量に比例すると考え、庭園の説明文がある 21 庭園の文中の英単語数 (本研究では以下「ワード数」という) を調べた。ワード数が最も多いのは Nerima Garden (以下練馬庭園) で 1058 ワード、次いでカウラ日本庭園 1001、姫路ガーデン 770、コフスハーバー日本友好庭園 724、Jurakuen (以下寿楽園) 386 の順であった。上位 2 庭園が 1000 ワード以上と突出しているが、どちらも造園の経緯について 200 ワード以上と他と比べて多かった。3、4 位は PDF でのパンフレットがあるためワード数が多かった。

各日本庭園のウェブサイト上での掲載内容を、①造園経緯、②作庭者、③使用植物、④デザインの特徴、⑤日本の文化、⑥姉妹都市、の 6 項目に分類して、それぞれのワード数を調査した。

結果、最多は 18 庭園に掲載されていた日本庭園の①造園経緯、についてと、④デザインの特徴、で庭園説明を掲

載する 21 庭園中の 85% を占めている。

①造園経緯について説明しているところ 18 庭園は全て姉妹都市日本庭園で全姉妹都市日本庭園 24 庭園の 75% と高い割合である。姉妹都市締結が契機になったことや姉妹都市締結の周年記念事業であることなどが掲載されていた。掲載庭園の平均は 77 ワードで 3 番目に高い。

②作庭者については 6 庭園 (28%) で、掲載の平均は 33 ワードと最も少なかった。内容を見ると、寿楽園では中根金作について 90 ワード、カウラ日本庭園では中島健について 55 ワード、Japanese Garden—Royal Tasmania Botanic Garden (以下タスマニア植物園日本庭園) では姉妹都市の焼津市の造園家である原田敢次郎について 23 ワード、Yusuien—Blisbane Mt.Coot-tha Botanic Garden (以下ブリスベン植物園日本庭園) では小形研三について 12 ワード、Rogan-En (ローガン園) では渡邊一について 9 ワードであった。オーストラリアには日本でも著名な造園家の作品で本格的日本庭園があるが、作庭者紹介として名前の他、日本で著名な造園家であることなどが掲載されていた。

③使用植物については 8 庭園 (38%) で平均 41 ワードであった。植物リストの掲載や桜や椿など日本の植物名を掲載していた。コフスハーバー日本友好庭園では 170 以上の植物があることや紅葉、椿の特徴などを説明し 127 ワードと多かった。

④デザインの特徴の具体的な内容は、池や橋があることなどで、日本庭園特有の構成要素の説明で、掲載庭園の説明ワード数の平均も 185 ワードと最も高かった。

⑤日本の文化については 4 庭園 (19%) と少ないが、掲載する庭園の平均は 111 ワードと 2 番目に多い。Japanese Garden—Tamborine Mountain Botanical Garden (以下タンボリン植物園日本庭園) では室町時代に関して 207 ワード、カウラ日本庭園は江戸時代に関して 180 ワードと 2 庭園のワード数が多かった。いずれも日本庭園の歴史と時代の特徴を解説している。コフスハーバー日本友好庭園では庭園内に鯉のほりを掲げており、説明文では 5 月の節句について掲載されていた。

⑥姉妹都市については 3 庭園 (14%) と 6 分類中で最も少ない説明ワード数であったが平均は 98 ワードで 3 番目に高い。その大半は 234 ワードを用いた練馬庭園の説明で、その具体的な内容としては姉妹都市である東京都練馬区が実施している日豪学生交流などの紹介であった (表 1、表 2)。

次に、説明文の全体的な特徴を考察するため、説明文に記載している 21 庭園で使用されている共通の単語 (以下「共通使用ワード」) を抽出し、日本庭園を説明するのにどのようなワードが頻出しているのかを調べ、日本庭園説明文の傾向を考察した。

共通使用ワードは表 3 に示したように 19 ワードで、traditional, peace, relationship, nature, environment の 5 ワードを日本庭園をイメージする「①象徴」として、relax, beautiful, contemplation, quiet (quietly), mystery, surprise の 6 ワードを日本庭園で感じる「②感覚」として、stone,



表 1 掲載内容と掲載庭園数・掲載庭園の平均単語数

掲載内容	掲載庭園数	掲載庭園の平均単語数
①造園経緯	18	77
②作庭者	6	33
③使用植物	8	41
④デザインの特徴	18	185
⑤日本の文化	4	111
⑥姉妹都市	3	97

(注)平均単語数の平均は小数点以下を四捨五入した

bridge, waterfall, lantern, pond, rock, water の7ワードを日本庭園の構成要素「③構成」として、wedding を庭園利用に関する「④利用」というように4つに分類した。

説明文がある21庭園全体では「①象徴」は14庭園(66%)、「②感覚」は10庭園(47%)、「③構成」は16庭園(76%)、「④利用」は8庭園(38%)で使用されていた。

最も多いのが「①象徴」の traditional (13) で、次いで「③構成」の stone (7), waterfall (7) の順であった。「①象徴」については日本庭園が、日本文化を伝える日豪国際文化交流の中で、日本庭園を日本の伝統的なものとして伝えていることの表れで、頻出したと考えられる。

また庭園利用の具体的内容は wedding の1ワードみであるにもかかわらず4割弱で使用されていることも特徴の一つとして言える(表3)。

#### (b) 写真数と写真内容

広報の内容の質を計る一方法として、掲載写真数と写真内容について、フェイスブックページ掲載の1庭園を除く32庭園について、ウェブサイトでの写真点数と内容を調べた。

庭園の写真掲載があるのは24庭園(75%)で、掲載点数の最高は44点、最低は1点であった。その内10点以上の掲載は5庭園(15%)、9~5点は4庭園(12%)、5点未満が15庭園(46%)、内1点のみの掲載は8庭園(25%)で、写真を掲載している24庭園の平均は6.6点であった。写真掲載無しは8庭園(25%)である。

掲載写真数が最も多いのは逍遥園の44点、次いでカウラ日本庭園25点、Busselton Sugito Friendship Garden(以下バッセルトン・杉戸友好の庭)14点、練馬庭園14点、大沢野日本庭園11点の順である。バッセルトン・杉戸友好の庭では掲載写真すべてがスライドショー(画面上に複数の画像を連続的に表示)で掲載していた。Japanese Garden—Melbourne Zoo(以下メルボルン動物園日本庭園)の写真は1点であるが6分20秒の音声ガイド付きの動画で見られるようになっていた。

写真内容は、池を中心にした庭園の全景が9庭園(37%)、次いで、橋5庭園(20%)、灯籠4庭園(16%)、四阿3庭園(12%)の順であった。その他には門、石、鯉、茶室、築山、塀、鳥居、造園工程、鯉のぼりが掲載されていた。

写真1点のみの掲載8庭園を見ると池3点、灯籠3点、四阿1点、築山1点であった。

写真をギャラリーにして単独ウェブページとして別にしていたのはカウラ日本庭園と逍遥園の2庭園であった(表4)。

#### (c) イベント有無とイベント内容

日本庭園におけるイベントは集客促進、利活用を目的として行うものという考えから、ウェブサイト上にイベントに関する掲載があるかどうかを調べ、インターネットを活用して、集客促進や利活用広報を行っているのかどうかを確認した。

庭園について説明文がある23庭園の中でイベントページまたはイベントに関する表記があったのは8庭園(24%)であった。そのうち日本庭園単独で開催されているイベントが確認できたのは2庭園のみであった。その一つはカウラ日本庭園で、桜祭りやイースターが定期的に行われているほか四季折々に様々なイベントが行われていた。もう一つはCanberra Nara Park(以下キャンベラ奈良公園)で、毎年キャンドル祭りが行われており、このイベントは庭園の紹介ページだけでなく、オーストラリア首都特別地域政府全体でのイベント紹介ページにも掲載されていた。

残りの6庭園は植物園など所属施設のウェブサイトのイベントページにJapanese gardenという記載があるだけでその内容は不明であった(表4)。

#### (d) インターネット検索での出現状況

インターネット上での各庭園の情報がどのくらい人の目に触れるのか、その機会を検証する一手段としてGoogleにて“Australia Japanese Garden”を検索した際の結果から出現状況を調べた。検索結果は「3~5ページ」までが最も多くみられている<sup>12)</sup>ことから、5ページ目までの出現状況を確認した。

検索結果画面の1ページ目には9件の情報があるが、その中で5件がカウラ日本庭園で、1件が寿楽園で、最初の1ページ目にはこの2庭園の情報がみられた。2ページ目にはJapanese Garden & Tea House(以下キャンベルタウン日本庭園)、大沢野日本庭園、逍遥園であった。3ページまでに8庭園(24%)、5ページ目までで12庭園(36%)が確認できた(表4)。

#### (e) ソーシャルネットワークサービス(SNS)上での関心度

インターネット上で各庭園についてどのくらい関心度があるのかを検証する一手段としてSNSの一つであるFacebookを用い、33庭園の「庭園名」と「庭園所在地(地名)」とJapanese gardenを検索し、運営主体が開設しているFacebookページを確認した。そして、そのページに対する「いいね」の数と、フェイスブックユーザーが任意でその庭園に到着または滞在したことを記す「チェックイン」の数と、フェイスブック上で作成できる庭園の「イベントページ」について「興味あり」としたユーザー数を合計し、Facebook上での庭園に関する関心度を把握した。

検索結果では、Facebookページ、チェックイン、イベントページのいずれかが確認できたのは33庭園中18庭園

表 2-1 オーストラリアの日本庭園一覧 (開園年順, 運営主体のウェブサイトの掲載状況) (牧田, 鈴木 2016, 11)

NO	庭園名	州	都市名	開園年	面積 (m <sup>2</sup> )	庭園様式	設計者	造園経緯	姉妹都市名 (締結年)	庭園所在地	運営主体	説明文掲載場所	ネット上の記載	日本庭園説明ページ数	ウェブサイトでの掲載状況					印刷物			
															造園経緯	制作者	使用植物	デザイン的特徴	日本の文化	姉妹都市	説明文ワード数計	パンフレット掲載など	
																							造園経緯
1	Japanese Garden (Embassy of Japan in Australia)	ACT	Canberra	1961	1000	池泉回遊式、枯山水	飯田十基	在外公館	—	大使館	日本大使館	見学可能場所	文中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	Japanese Studies Courtyard	WA	Perth	1975	1200	池泉回遊式	Peter Armstrong	民間企業の寄付	—	大学	州	過去の記事	文中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	Japanese garden (Auburn Botanic Gardens)	NSW	Auburn	1977	—	池泉回遊式	—	その他	—	植物園	市	公園案内	説明あり	1	0	0	2	166	0	0	0	168	0
4	Cowra Japanese garden	NSW	Cowra	1979	50000	池泉回遊式	中島健	友好都市	新潟県上越市 (2003)※友好	単独	団体	トップページ	単独開設	0	398	55	0	368	180	0	0	1001	0
5	Japanese Garden (Rockhampton Botanic Gardens)	QLD	Rockhampton	1982	3840	池泉回遊式	小形研三	姉妹都市	鹿児島県指宿市 (1980)	植物園	市	公園案内	文中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	Nagoya Garden	NSW	Sydney	1983	1600	回遊式	Norman Weekes	姉妹都市	愛知県名古屋 (1980)	公園	市	過去の記事	説明あり	0	87	0	47	0	0	0	0	134	0
7	Himeji Garden	SA	Adelaide	1985	2250	池泉回遊式	熊田造園	姉妹都市	兵庫県姫路市 (1982)	公園	市	公園案内	説明、PDFあり	1	70	0	0	647	0	53	770	0	0
8	Japanese Garden (Royal Tasmania Botanic Garden)	TAS	Hobart	1987	5000	池泉回遊式	原田敬次郎	姉妹都市	静岡県焼津市 (1977)	植物園	市	植物園案内	説明あり	1	25	23	62	53	0	0	163	0	0
9	Japanese Garden & Tea House	NSW	Campbelltown	1988	30000	茶庭、枯山水	越谷市の造園家有志	姉妹都市	埼玉県越谷市 (1984)	公園	市	公園案内	説明あり	1	22	0	0	52	0	0	74	0	0
10	Japanese garden (Perth zoo)	WA	Perth	1988	400	池泉回遊式	両角英治	姉妹都市	兵庫県 (1981)	動物園	州	テレビモーター会場	文中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	Japanese garden (Fagan Park)	NSW	Hornsby	1988	—	枯山水	—	その他	—	公園	市	公園案内	文中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	Yusuien (Bilsbane Mt.Cootha Botanic Garden)	QLD	Brisbane	1989	1800	池泉回遊式	小形研三、榊原八朗	万博	兵庫県神戸市 (1985)	植物園	市	植物園案内	説明あり	1	0	12	0	66	0	0	78	0	0
13	Ju Raku En (University of Southern Queensland)	QLD	Toowoomba	1989	10000	池泉回遊式	中根金作	公的機関	大阪府高槻市 (1991)	大学	国立大学	施設案内	説明あり	1	51	90	0	245	0	0	386	0	0
14	Japanese Garden (Tamborine Mountain Botanical Garden)	QLD	Tamborine	1990	—	池泉回遊式	タンボリンガークラブ	その他	—	植物園	市	植物園案内	説明あり	1	0	0	0	0	207	0	207	0	0
15	Japanese Garden (Melbourne Zoo)	VIC	Melbourne	1991	868	池泉回遊式	中根史郎	姉妹都市	愛知県 (1980)	動物園	州	景観	説明あり	0	94	0	1	2	4	3	104	0	0
16	Cyuo City Garden	NSW	Sutherlandshire	1992	—	回遊式	サザンランド市、中央区	姉妹都市	東京都中央区 (1991)	公園	市	公園案内	写真のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	Kawasaki Bridge	NSW	Wollongong	1993	4400	朱塗りの太鼓橋 (池泉回遊式)	—	姉妹都市	神奈川県川崎市 (1998)	植物園	市	公園案内	園内マップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ACT=首都特別地域、NSW=ニューサウスウェールズ州、QLD=クイーンズランド州、SA=南オーストラリア州、TAS=タスマニア州、VIC=ビクトリア州、WA=西オーストラリア州

表 2-2 オーストラリアの日本庭園一覧（開園年順、運営主体のウェブサイトで掲載状況）（牧田、鈴木 2016.11）

NO	庭園名	州	都市名	開園年	面積 (m <sup>2</sup> )	庭園様式	設計者	造園経緯	姉妹都市名 (締結年)	庭園所在地	運営主体	説明文掲載場所	ネット上の記載	日本庭園説明ページ数	ウェブサイトでの掲載状況					印刷物		
															造園経緯	作庭者	使用植物	デザイン的特徴	日本の文化		姉妹都市	説明文ワード数
18	Gosford Etogawa commemorative Garden	NSW	Gosford	1994	2050	池泉回遊式	Ken Lamb	姉妹都市	東京都江戸川区 (1988)	施設	市	施設案内	説明あり	1	25	0	0	101	0	0	126	○
19	Japanese Garden	SA	Manion	1994	210	観賞式	国分寺市造園組合	姉妹都市	東京都国分市 (1993)	施設	市	姉妹都市	説明あり	0	25	0	0	0	0	0	25	
20	Regan-En (Japanese garden)	VIC	Clayton	1996	500	観賞式	渡辺一、Paul Thompson	その他	大阪府大阪市 (1978)	大学	州	公園案内	説明あり	1	0	9	0	24	0	0	33	
21	Busseton Sugiyo Friendship Garden	WA	Busseton	1997	138	回遊式	杉戸町の造園家有志	姉妹都市	埼玉県杉戸町 (1996)	公園	市	姉妹都市	説明あり	1	51	0	0	0	0	0	56	
22	Frankston Susono Friendship Garden	VIC	Frankston	1997	33	観賞式	Harry Lucy 塩野健一殿	姉妹都市	静岡県裾野市 (1982)	高校	州	フェイスブック (イベント開催場所)		0	0	0	0	0	0	0	0	
23	Japanese Gardens Blackwater	QLD	Blackwater	1998	3000	池泉回遊式	藤沢町、ブラッドウオーター市	姉妹都市	岩手県藤沢町 (1993)	施設	市	施設案内	説明あり	0	24	0	0	113	0	0	137	
24	Ohkuma Japanese Garden	NSW	Bathurst	1998	600	回遊式	双北造園	姉妹都市	福島県大熊町 (1991)	公園	市	公園案内	文中	0	0	0	0	0	0	0	0	
25	Canberra Nara Park	ACT	Canberra	1999	14000	回遊式	ACT Landscape	姉妹都市	奈良県奈良市 (1993)	公園	州	公園案内	説明あり	1	108	0	64	99	0	0	271	○
26	Miniature Japanese garden	QLD	Logan	1999	15	観賞式	飛田剛敏	姉妹都市	大阪府枚方市 (1995)	施設	市	姉妹都市	説明あり	0	20	0	0	0	0	0	20	
27	Osawano Japanese Gardens	NSW	Wellington	1999	-	池泉回遊式	-	姉妹都市	富山県富山市 (1992)	公園	市	民間の観光案内		1	16	0	0	124	0	0	140	
28	Nerima Garden	QLD	Ipswich	2001	18000	池泉回遊式	練馬区の造園家	姉妹都市	東京都練馬区 (1994)	公園	市	公園案内	説明あり	1	206	0	0	618	0	234	1058	○
29	Shoyoen	NSW	Dubbo	2002	10637	池泉回遊式	加茂農林高校	姉妹都市	岐阜県美濃加茂市 (1989)	植物園	市	公園案内	説明あり	2	111	0	15	64	0	0	190	○
30	Adachi Park	WA	Belmont	2004	2020	回遊式	Hames Sharly	姉妹都市	東京都足立区 (1984)	公園	市	公園案内	説明あり	1	0	0	0	55	0	0	55	
31	Japanese Garden (Bundaberg botanic garden)	QLD	Bundaberg	2004	180	池泉回遊式	Keith Drinkwater	姉妹都市	大阪府摂津市 (1998)	植物園	市	植物園案内	園内マップ	0	0	0	0	0	0	0	0	
32	Miura friendship garden	VIC	Warrnambool	2008	2600	観賞式	-	姉妹都市	神奈川県三浦市 (1992)	公園	市	公園案内	説明あり	0	15	0	4	11	0	0	30	
33	Japanese Friendship Garden	NSW	Coffs Harbour	2008	-	池泉回遊式	-	姉妹都市	長崎県佐世保市 (1988)	植物園	市	公園案内	説明、PDFあり	1	30	0	127	517	50	0	724	

ACT=首都特別地域、NSW=ニューサウスウェールズ州、QLD=クイーンズランド州、SA=南オーストラリア州、TAS=タスマニア州、VIC=ビクトリア州、WA=西オーストラリア州

表 3 オーストラリアの日本庭園 運営主体のウェブサイトでの共通使用ワード (2016.11)

NO	庭園名	① 象徴					② 感覚					③ 構成							④ 利用	
		traditional	peace	relationship	nature	environment	relax	beautiful	contemplation	quiet,quietly	mystery	surprise	stone	waterfall	bridge	rock	lantern	pond	water	wedding
1	Japanese Garden (Embassy of Japan in Australia)																			
2	Japanese Studies Courtyard																			
3	Japanese garden (Auburn Botanic Gardens )							○					○	○					○	○
4	Cowra Jaoanese garden	○	○			○	○						○		○					○
5	Japanese Garden (Rockhampton Botanic Gardens)																			
6	Nagoya Garden																			
7	Himeji Garden		○		○		○					○				○				
8	Japanese Garden (Royal Tasmania Botanic Garden)	○					○	○	○	○		○		○				○	○	
9	Japanese Garden & Tea House	○			○			○	○	○		○	○	○				○		
10	Japanese garden (Perth zoo)																			
11	Japanese garden (Fagan Park)																			
12	Yusuien ( Blisbane Mt.Coot-tha Botanic Garden)										○	○						○		
13	Ju Raku En ( University of Southan Queensland)	○	○				○	○		○		○		○	○					○
14	Japanese Garden (Tamborine Mountain Botanical Garden)																			○
15	Japanese Garden (Melbourne Zoo)	○		○																
16	Cyuo City Garden																			
17	Kawasaki Bridge																			
18	Gosford Edogawa commemorative Garden	○					○					○		○				○		○
19	Japanese Garden																			
20	Rogan-En (Japanese garden)	○						○							○					
21	Busselton Sugito Friendship Garden															○				
22	Frankston Susono Frenship Garden																			
23	Japanese Gardens Blackwater	○					○	○				○	○		○	○	○	○	○	○
24	Ohkuma Japanese Garden																			
25	Canberra Nara Park	○														○				
26	Miniature Japanese garden															○				
27	Osawano Japanese Gardens																			
28	Nerima Garden	○	○	○									○	○				○		○
29	Shoyoen	○		○									○		○					
30	Adachi Park																			
31	Japanese Garden (Bundaberg botanic garden )																			
32	Miura frenship garden	○																		
33	Japanese Friendship Garden	○											○		○					
計		13	4	3	2	1	6	6	2	3	1	1	7	7	6	6	5	5	3	8

注) 網掛は、説明文が記載されていなかった庭園

表 4 オーストラリアの日本庭園 運営主体のウェブサイト掲載内容, Google 検索の出現状況, Facebook での関心度 (2016.11)

NO	庭園名	写真数	写真の内容	イベント実施	イベントの内容	Google検索での出現ページ	フェイスブックでの「いいね」の数
1	Japanese Garden (Embassy of Japan in Australia)	0	-	△	大使館の催し	5ページ目	
2	Japanese Studies Courtyard	1	池	×			
3	Japanese garden (Auburn Botanic Gardens)	2	橋	△	植物園の催し		90
4	Cowra Jaocanese garden	26	四季、植物、桜、茶室、池	○	桜祭り、イースター	1ページ目	8295
5	Japanese Garden (Rockhampton Botanic Gardens)	0	-	×			
6	Nagoya Garden	0	-	×			
7	Himeji Garden	2	門(図、イメージ植物)	×		3ページ目	6301
8	Japanese Garden (Royal Tasmania Botanic Garden)	3	(ストリートビュー)	×			21
9	Japanese Garden & Tea House	6	橋、池、鯉、茶室、	×		2ページ目	20
10	Japanese garden (Perth zoo)	1	池	×			
11	Japanese garden (Fagan Park)	0	-	×			
12	Yusuien (Blisbane Mt.Coot-tha Botanic Garden)	5	門、池(全景)×3、灯籠	△	植物園の催し	4ページ目	83
13	Ju Raku En (University of Southan Queensland)	3	橋、池(橋)、全景	×		1ページ目	3508
14	Japanese Garden (Tamborine Mountain Botanical Garden)	9	橋、鳥居	△	植物園の催し	3ページ目	
15	Japanese Garden (Melbourne Zoo)	1	築山(つつじ、四阿)	×			258
16	Cyuo City Garden	2	堀、全景	×			11
17	Kawasaki Bridge	0	-	△	植物園の催し		
18	Gosford Edogawa commemorative Garden	1	四阿、池	×		3ページ目	494
19	Japanese Garden	1	灯籠、四阿	×			
20	Rogan-En (Japanese garden)	1	全景	×		5ページ目	
21	Busselton Sugito Friendship Garden	14	造園工程7、植物7、スライドショー、橋、灯籠	×			52
22	Frankston Susono Frenship Garden	0	-	×			
23	Japanese Gardens Blackwater	2	灯籠	△	併設施設の催し		18
24	Ohkuma Japanese Garden	1	灯籠	×			9
25	Canberra Nara Park	1	灯籠	○	キャンドル祭り		754
26	Miniature Japanese garden	0	-	×			
27	Osawano Japanese Gardens	11	四阿、橋、池、塔	×		2ページ目	14
28	Nerima Garden	14	池、全景	×		4ページ目	9
29	Shoyoen	44	メインは池その他スナップ多数	×		2ページ目	44
30	Adachi Park	4	四阿	×			78
31	Japanese Garden (Bundaberg botanic garden)	0	-	×			
32	Miura frendship garden	0	-	×			
33	Japanese Friendship Garden	5	橋、石、こいのぼり	×			

注) イベント実施 ○=日本庭園単独開催、△=イベントの表記のみ ×イベントの表記なし



(54%)で、その内「いいね」と「チェックイン」数が最も多かったのはカウラ日本庭園 8295であった。次いで姫路ガーデンが6301、キャンベラ奈良公園 4112、寿楽園 3508の順であった。キャンベラ奈良公園はキャンドル祭りのイベントページに対して「興味あり」が3358もあった。寿楽園は庭園名では出現せず地名を示す Toowoomba Japanese garden で出現した(表4)。

参考までに東京都の旧浜離宮庭園の「いいね」と「チェックイン」の合計は1840、小石川後楽園 776である。これと比べると、オーストラリアの日本庭園でみられた上位庭園は、Facebookでの関心度が日本より高いと言える。

### 6. インターネットを活用した広報の評価

インターネットを活用した広報を実施している32庭園について、これまでの調査結果を試験的にそれぞれ数値化し、その合計値(最高値16)を「オーストラリアの日本庭園におけるインターネット広報の積極度評価値」として考察した。この数値が高い庭園ほど広報の質量ともに高く、数値が低いものはあまり広報に力をいれていないと考えることができる(表5、表6)。

最も数値が高かったのはカウラ日本庭園で16と群を抜いていた。ついで、寿楽園、練馬庭園、逍遥園が10、姫路ガーデン、キャンベルタウン日本庭園が9であった。最も数値が低かったのは0ポイントで、説明文も写真もなく、フェイスブックにも現れない庭園が5庭園(15%)あった。

32庭園の平均は4.4であった。平均を上回る5ポイント以上が14庭園(43%)で、この内10庭園が姉妹都市日本庭園であった。

園であった。一方で4ポイント未満は18庭園(56%)で、この内14庭園が姉妹都市日本庭園であった。0ポイントの5庭園中、姉妹都市日本庭園は4庭園であった。

オーストラリアでは、姉妹都市間の交流内容は、教育、文化、スポーツ、経済などがあげられ、住民の相互理解を深めるための交流事業の充実、経済効果を生む事業、訪問者増を狙っている<sup>13)</sup>というが、ここでの姉妹都市日本庭園24庭園のインターネット広報の積極度評価値の平均は4で、32庭園全体の平均4.4を下回り、全体的にみると姉妹都市日本庭園がインターネット広報を積極的に行い戦略的に訪問者増を狙うような状況とは言い難い結果だった。

### 7. オーストラリアの日本庭園のインターネット広報から見たマネジメントの方向性

既往研究ではオーストラリアの日本庭園23庭園の役割を①国家間友好象徴としてオーストラリアを代表とする日本庭園、②庭園空間を舞台に日本文化を伝える本格的な日本庭園、③日本の情緒がありレクリエーションの場となる日本庭園、④日本をイメージして交流などをプロモートする観賞型日本庭園と4類型している<sup>14)</sup>。これらの役割とマネジメントが密接であることから、インターネット広報の現状を数値化した結果にこの役割を参照し、各庭園を運営主体が日本庭園をどのような位置づけでマネジメントしようとしているのかを考察し、その特徴を以下のA B C Dとして示す4類型に分類した(表5、表6)。

A, Bのグループは、インターネット広報で説明や写真の掲載を行い、集客、利活用促進を狙うという戦略的な意図が見え「積極的な広報=戦略的」と位置付けた。

一方で、Cは運営主体の義務感による消極的な広報で、Dは名称を掲載したにすぎないという最低限のもので、そこには戦略的な意図はみられないと判断し、C, Dは「消極的な広報=非戦略的」と位置付けた。

Aグループは数値が10以上で、インターネットを活用した広報を積極的に行っている。カウラ日本庭園を筆頭に4庭園が該当する。GoogleでAustraliaJapanesegardenと検索した結果、上位に出現することから見ても、インターネット上では来訪しようとする人や、地域の人々との接触の機会が設けられ関心度も高いといえる。またこれらの日本庭園は地域の有効な観光資源とみなされると考えられる。

Bは数値が平均を上回る5以上10未満で10庭園が該当する。掲載内容の説明文と写真から庭園空間が想像できる情報量と質を発信している。地域内の市民利用に主体があり、観光資源としての外来観光客へのアピールも感じられる。

Cは数値が1以上5未満で13庭園が該当する。情報発信してはいるが、観光資源としてとらえた際の日本庭園の情報提供が足りていないと判断される。姉妹都市日本庭園として、日豪交流の証からその存在をアピールしているだけのような広報の消極さを感じる。

Dは庭園名だけ表示の5庭園と、運営主体が直接インターネットを活用した広報をしていない1庭園である。姉

表5 インターネット広報から見た庭園マネジメントの方向性

積極的な 広報    戦略的	A. 地域の観光資源としての存在感のある庭園 ・数値10ポイント以上 ・広報活動が積極的<4庭園> カウラ日本庭園、寿楽園、練馬園、逍遥園
	B. 地域市民の日常的利用を主体として観光資源を目指している庭園 ・ポイント9~5 ・広報はAほど積極的ではないが十分な庭園内容の説明をしている<10庭園> 姫路庭園、キャンベルタウンJG、プリズベン植物園JG、マウント・タンボリン植物園JG、ゴスフォード江戸川記念庭園、バッセルトン・杉戸友好の庭、キャンベラ奈良公園、オーバン植物園JG、メルボルン動物園JG、ブラックウォーターJG
消極的な 広報    非戦略的	C. 日豪交流の証として存在を維持しているような庭園 ・ポイント4~1 ・広報の質量ともに不足している<13庭園> タスマニア植物園JG、足立公園、日本友好庭園、中央区庭園、ローガン園、大熊日本庭園、在オーストラリア大使館JG、日本学科の中庭、名古屋ガーデン、パース動物園、川崎橋、マリオン市JG、小さな日本庭園
	D. 日豪交流の義務として庭園名だけを表記している庭園 ・ポイント0 ・情報発信していると言い難い<6庭園> ロックハンプトン植物園JG、ファガン公園JG、フランクストン・裾野友好庭園、バンダバーグ植物園JG、三浦友好庭園、大沢野日本庭園

JG=Japanese Garden/日本庭園

表 6 オーストラリアの日本庭園のインターネット広報の現状 (数値降順) (牧田, 鈴木 2016. 11)

NO	庭園名	分類	試験的数値計	ワード数計	写真数	イベント	Google 検索での出現ページ	Face Book いいね数	役割
4	Cowra Japanese garden (カウラ日本庭園)	A	16	1001	26	あり単	1 ページ目	8295	①
13	Ju Raku En 寿楽園 (南クイーンズランド大学日本庭園)		10	386	3	なし	1 ページ目	3508	②
28	Nerima Garden (練馬園)		10	1058	14	なし	4 ページ目	9	③
29	Shoyoen (逍遙園)		10	190	44	なし	2 ページ目	44	③
7	Himeji Garden (姫路庭園)	B	9	770	2	なし	3 ページ目	6301	③
9	Japanese Garden & Tea House (キャンベルタウン日本庭園と茶室)		9	144	6	なし	2 ページ目	20	③
12	Yusuien 遊翠園 (ブリスベン植物園日本庭園)		7	78	5	あり	4 ページ目	83	②
14	Japanese Garden (マウント・タンボリン植物園日本庭園)		7	207	9	あり	3 ページ目		—
18	Gosford Edogawa commemorative Garden (ゴスフォード江戸川記念庭園)		7	126	1	なし	3 ページ目	494	②
21	Busselton Sugito Friendship Garden (バッセルトン杉戸友好の庭)		6	56	14	なし		52	
25	Canberra Nara Park (キャンベラ奈良公園)		6	271	1	あり単		754	③
3	Japanese garden 日本庭園 (オーバン植物園)		5	168	2	あり		90	—
15	Japanese Garden 日本庭園 (メルボルン動物園)		5	104	1	なし		258	②
23	Japanese Gardens Blackwater (ブラックウォーター日本庭園)		5	137	2	あり		18	③
8	Japanese Garden 日本庭園 (タスマニア植物園)	C	4	163	3	なし		21	③
30	Adachi Park (足立公園)		4	55	4	なし		78	④
33	Japanese Friendship Garden (コフスハーバー日本友好庭園)		4	724	5	なし			—
16	Cyuo City Garden (中央区庭園)		3	0	2	なし		11	④
20	Rogan-En (ローガン園)		3	33	1	なし	5 ページ目		④
24	Ohkuma Japanese Garden (大熊日本庭園)		3	0	1	なし		9	④
1	Japanese Garden 日本庭園 (在オーストラリア大使館)		2	0	0	あり	5 ページ目		①
2	Japanese Studies Courtyard (西オーストラリア大学日本学科の中庭)		1	0	1	なし			④
6	Nagoya Garden (名古屋ガーデン)		1	134	0	なし			④
10	Japanese garden (パース動物園日本庭園)		1	0	1	なし			—
17	Kawasaki Bridge (ウーロンゴン植物園川崎橋)		1	0	0	あり			④
19	Japanese Garden (マリオン日本庭園)		1	0	1	なし			④
26	Miniature Japanese garden (ローガン小さな日本庭園)		1	20	0	なし			④
5	Japanese Garden (ロックハンプトン植物園日本庭園)		D	0	0	0	なし		
11	Japanese garden (ファガン公園日本庭園)	0		0	6	なし			—
22	Frankston Susono Friendship Garden (フランクストン裾野友好庭園)	0		0	0	なし			
31	Japanese Garden (日本庭園バンダバーグ植物園)	0		0	0	なし			
32	Miura friendship garden (三浦友好庭園)	0		30	0	なし			
27	Osawano Japanese Gardens (大沢野日本庭園) ※	—		140	11	なし	2 ページ目	14	—

## インターネット広報内容の数値化のための試験的基準

ワード数	数値	写真点数	数値	イベント	数値	Google 検索	数値	Facebook	数値
1000 文字以上	3	11 点以上	4	独自であり	2	1 ページ目	5	1000 以上	2
500~999 文字	2	5~10 点	3	園内であり	1	2 ページ目	4	1~999	1
1~499 文字	1	2~4 点	2	なし	0	3 ページ目	3	なし	0
0 文字	0	1 点	1			4 ページ目	2		
		0 点	0			5 ページ目	1		
						上記以外	0		

役割: ①. 国家間友好象徴としてオーストラリアを代表とする日本庭園 = 多くのメディアにも取り上げられ、国家レベルでの平和・友好のシンボルとして特別な役割を果たすもの

②. 庭園空間を舞台に日本文化を伝える本格的な日本庭園 = 基本的には池泉回遊式で日本庭園の伝統的な要素が盛り込まれ、日本の文化を伝える舞台として活躍しているもの

③. 日本的情緒がありレクリエーションの場となる日本庭園 = 日本的な情緒を演出している日本庭園で、市民がレクリエーションの場として気軽に利用しているもの

④. 日本をイメージして交流などをプロモートする観賞型日本庭園 = 主に姉妹都市のシンボル、姉妹都市の締結を記念として贈られた灯籠などを構成要素が際立つもの

(注) ・大沢野日本庭園の数値: 大沢野日本庭園を紹介する民間ウェブサイトでの数、イベントの「あり単」: 日本庭園単独のイベントがある

妹都市日本庭園として、日豪交流の義務として、庭園名は記載したものの広報活動とは言い難いものといえよう。

## 8. ま と め

オーストラリアの日本庭園全33のインターネット上での情報掲載をみると、32庭園の運営主体がインターネットを活用した広報を実施していた。

日本庭園を紹介するウェブページの掲載場所は、市民のための利用施設案内ページで、中でも公園案内が15庭園と最も多かった。日本庭園についての何らかの説明文の掲載は21庭園で見られた。掲載内容は日本庭園の造園経緯とデザイン的特徴の説明がそれぞれ18庭園と最多で、造園経緯の説明が掲示されていたところ全てが姉妹都市日本庭園であった。

運営主体のウェブサイト上に庭園の説明文がある21庭園の中で使用されている共通の単語を見ると、「象徴」は7種のワードが14庭園(66%)、「感覚」は6種のワードが10庭園(47%)、「構成」は7種のワードが16庭園(76%)、「利用」はweddingの1種のワードが8庭園(38%)で使用されていた。最も多いのが「象徴」としてのtraditinal(13庭園)で、次いで「構成」としてのstone(7庭園)、warterfall(7庭園)であった。

広報の内容と質を計る一方法として、運営主体のウェブサイト上で掲載されている写真と写真点数を調べたところ、24庭園(75%)で掲載が確認できた。最も多く掲載していたのは逍遥園の44点で、掲載している1庭園当たりの平均は6.6であった。写真の内容は、全景が9庭園(37%)、次いで橋が5庭園(20%)、灯籠が4庭園(16%)と、日本庭園の構成要素が多くみられた。

来園や利活用を促すためのイベントについての運営主体のウェブサイト上での掲載状況を調べたところ、全33庭園中Event(イベント)の表記があったのは僅か8庭園であった。そのうち日本庭園単独で開催されているイベントが確認できたのは2庭園のみで、その他はイベント内容については掲載されていなかった。

インターネット検索での出現状況を把握するためGoogleで“Australia Japanese Garden”を検索したところ5ページ目までに12庭園が出現したが、全庭園数の半分には満たなかった。一方Facebookでは18庭園と半数以上が確認できた。

インターネットを活用した広報を実施していた32庭園について「オーストラリアの日本庭園におけるインターネット広報の積極度評価値」を用いて、インターネット広報から見た庭園マネジメントの方向性を考察した結果、「積極的な広報=戦略的」な庭園は14庭園、「消極的な広報=非戦略的」な庭園は18庭園となった。評価点が高い「積極的」な庭園では、写真の掲載も多く、造園経緯や姉妹都市の説明など詳しく説明しており、日本庭園が、日本文化を伝え、日豪国際文化交流としての存在であることを意識していることが伺える。一方で評価点が高い「消極的」な庭園は存在は知らせているものの、造園経緯や姉妹都市、設計者など詳細な内容にはほとんど

触れられていなかった。さらには姉妹都市日本庭園であるにも関わらずJapanese gardenまたは庭園名の表記だけのものが5庭園あった。

積極的なインターネット広報ではカウラ日本庭園をはじめ来園促進を考え、日豪交流のみならず観光地化するという戦略的なマネジメントが伺えるが、一方で、詳しい説明や写真がなかったり、庭園名の表記だけで消極的なところと仮説的に判断したものは32庭園中18庭園と半数を超えた。この18庭園中14庭園は姉妹都市日本庭園である。オーストラリアでは姉妹都市日本庭園でありながら庭園名のみの表記でほとんど情報がない、つまり非戦略的である消極的な広報と積極的な広報の両極で差があることが明らかになった。

オーストラリアに造園された日本庭園は、日豪交流において日本の文化理解のための一つ、あるいは友好の象徴として造園されていると考えられるが、オーストラリアの日本庭園の運営主体はインターネットを活用した広報を行っているものの、日本の伝統行事や歳時記など文化的な内容は少なく、来園促進のためのイベントの開催が極めて少ないことも明らかになった。

本研究では、オーストラリアの日本庭園についてインターネットを活用した広報が、その半数以上において消極的であることから、日本庭園を介した日本の文化の理解のための場としてその役割が全うしていけるのかが課題として見えた。

首相官邸政策会議にて「明日の日本を支える観光ビジョン」がとりまとめられ、その中で、インバウンド観光促進のための多様な魅力の対外発信強化を図る施策の一つとして、「日本の伝統文化への理解を深めるため、海外日本庭園の再生プロジェクトを実施」という項目が盛り込まれた<sup>15)</sup>。これには、海外に設置されている日本庭園が、海外の人々の日本への理解を深める意味で大きな役割を有していることから、これを適切に保全、再生することを通じて日本への関心を高めてもらい、ひいては来日観光客の増加効果を期待する、という政策上のねらいがある。適切に保全、再生すること、つまり管理や補修の技術的な指導や支援が期待されている。

一方で、身近な支援として、特に姉妹都市関係では、本研究で取り上げた、日本庭園の説明文、日本の伝統文化の紹介文などの提供、イベントの提案など可能であると考えられる。これらの支援が庭園の運営主体の広報活動につながり、インターネットを活用した広報にも反映され、集客促進や利活用が促され、その存在意義、運営基盤がより健全化することが期待される。

**謝辞:** 本研究はJSPS 科研費 26292187 の助成を受けました。多忙の中惜しまず情報を提供していただいた各自治体及び造園家、関係者の皆様に御礼申し上げます。

### 参考文献

- 1) 鈴木 誠, 服部 勉, 牧田直子 (2012) 海外の日本庭園をめぐる近年の動向, 日本庭園学会平成 24 年度全国大会研

- 究発表資料：33
- 2) 牧田直子, 鈴木 誠 (2015) 海外の姉妹都市日本庭園の歴史と日本側自治体から見た現状と課題, ランドスケープ研究 78 (5) : 483-486
  - 3) 牧田直子 (2010) “オーストラリアの日本庭園の役割” オーストラリアにおける日本庭園の受容史, 東京農業大学修士論文 : 64
  - 4) 鈴木 誠 (2006) 海外につくられた日本庭園の系譜, 日本造園学会ランドスケープ研究 69 (3) : 198
  - 5) 有田典代 (2011) “これからの国際交流の姿” 地域の活性化に国際交流を活かせる自治体とは, 自治体国際化フォーラム : 6
  - 6) プリタニカ, 国際大百科事典小項目事典一広報, <<https://kotobank.jp/word/%E5%BA%83%E5%A0%B1-23066>> (最終アクセス 2016 年 11 月 8 日)
  - 7) 牧田直子 (2010) “オーストラリアにおける日本庭園の受容特徴” オーストラリアにおける日本庭園の受容史, 東京農業大学修士論文 : 23
  - 8) Stat Counter, Stat Counter Global Stats—Top 5 Desktop, Tablet & Console Search Engines from June 2015 to June 2016, <<http://gs.statcounter.com/>> (最終アクセス 2016 年 11 月 8 日)
  - 9) Active Users By Social Platform 2016, <<http://wearesocial.com/sg/special-reports/digital-2016>> (最終アクセス 2016 年 11 月 8 日)
  - 10) 牧田直子 (2010) “オーストラリアの日本庭園の役割” オーストラリアにおける日本庭園の受容史, 東京農業大学修士論文 : 56-58
  - 11) 牧田直子, 服部 勉, 鈴木 誠 (2011) オーストラリアの日本庭園の歴史と現状に関する研究, ランドスケープ研究 74 (5) : 367
  - 12) 三浦 基, 小林憲一 (2008) “検索結果の閲覧” 検索エンジン利用実態調査, NHK 放送文化研究所 : 62
  - 13) 財団法人自治体国際化協会 Clair Report No. 025 (1998) 「オーストラリアの自治体と日本との交流の現況」
  - 14) 牧田直子 (2010) “オーストラリアの日本庭園の役割” オーストラリアにおける日本庭園の受容史, 東京農業大学修士論文 : 58
  - 15) 首相官邸 (2016) 「明日の日本を支える観光ビジョン」(案, 2016 年 3 月 30 日) 首相官邸政策会議 「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」 : 18



# The Current Status and Issues of Internet Public Relations Concerning Public Japanese Gardens in Australia

By

Naoko MAKITA\* and Makoto SUZUKI\*\*

(Received November 21, 2016/Accepted January 27, 2017)

**Summary** : These days, there is a need for strategic management of International relationships. The management of Japanese gardens outside Japan is desirable as a global structure which corresponds to each county and area. In Australia, 24 Japanese gardens (exceeding 70% of the total) were made through relationship of sister city. It is characteristic that Japanese gardens in Australia are managed by the local government or a citizen's group, other than the 2 gardens owned by the Japanese Embassy and the national university. In this study, we clarified the present conditions of public relations that utilized the Internet, which is one of the important elements of garden management, and considered the future direction of management in the international cultural relationship concerning the 33 public Japanese gardens in Australia. We researched such factors as position and content, and quantified the result experimentally. We can set out 4 types in which "an active public relations = an active strategy", A type (4 gardens) : they can become tourist attractions in the area, B type (10 gardens) : they are used by citizens daily and suggest tourist attractions, "As a passive public relations = an passive strategy", C type (13 gardens) : they keep the presence as a symbol of the Japan-Australia relationship, and D type (6 gardens) : they introduce only the garden name as the obligation of a Japan-Australia exchange. Concerning Japanese gardens in Australia, active public relations and passive public relations are the extremes. We could clarify whether the public relations that utilized the Internet in half or more of the Australian Japanese gardens could accomplish the role as a place for furthering understanding of Japanese culture through passive public relations in the Japanese garden.

**Key words** : Japanese garden, Japanese garden outside of Japan, Internet, Public relations, Management, Homepage, Website

---

\* Department of Landscape Architecture Science, Faculty of Regional Environment Science, Tokyo University of Agriculture (Department of Environmental Horticulture, Faculty of Environmental Horticulture, Minami Kyusyu University, n.makita@nankyudai.ac.jp)

\*\* Department of Landscape Architecture Science, Faculty of Regional Environment Science, Tokyo University of Agriculture